

薬剤部

2019年度については、下記の事項について取り組んだ。

クリニカルパス(薬物療法)への関与

ポリファーマシーへの関与

電子カルテ更新(臨床検査値を院外処方せんに表記、与薬管理システムの導入)

ケモ助の導入

1. 処方箋枚数

外来(院内・内外用)	年間	18,329 枚(1日平均 50 枚)
外来(院外・内外用)	年間	189,869 枚(1日平均 711 枚)
院外処方せん発行率		91.2%
外来(注射)	年間	23,119 枚(1日平均 63 枚)
入院(内外用)	年間	120,203 枚(1日平均 329 枚)
入院(注射)	年間	162,939 枚(1日平均 446 枚)

2. 無菌調製件数

中心静脈栄養	年間	1,708 件(月平均 142 件)
抗癌剤(外来)	年間	6,672 件(月平均 556 件)
抗癌剤(入院)	年間	3,444 件(月平均 287 件) *うち、休日ケモ 328 件
がん患者管理指導料	3 年間	178 件(月平均 14.8 件)
化学療法登録レジメン数		665 レジメン

3. 薬剤管理指導業務

薬剤管理指導算定件数(2019年4月～2020年3月)

	2019/4	5	6	7	8	9	10	11	12	2020/1	2	3	総計
件数	2,024	1,942	1,981	2,281	2,194	1,956	2,121	2,035	2,073	1,886	1,916	2,077	24,486

4. 医薬品情報業務

- ・薬品情報の収集・管理及び医療スタッフへの情報伝達・提供
- ・製薬会社医薬品情報担当者との面談

5. 薬物血中濃度解析業務

MRSA の点滴治療薬のバンコマイシン等は適正濃度と副作用発現危険濃度の差は狭く投与開始時は dosing chart に沿って投与量、投与間隔を決定し投与するが、投与後適正か否かの評価に血中濃度(TDM)測定は不可欠である。そしてTDMの結果から投与量を正確に調整するには専門的な解析を要する。適正治療行わなければ院内感染対策の主要な部分を占めるMRSA感染に対して確実な治療効果が得られず、在院日数の延長や医療費の浪費につながり医療経済学上重大な問題となり、また、投与患者の副作用を回避する

点においても不十分である。(バンコマイシン適正使用マニュアルより)

過去 5 年間血中濃度解析件数(平成 26～30 年度)

H27 年度 H28 年度 H29 年度 H30 年度 2019 年度

494 573 529 552 502

6. 治験事務局業務

医薬品の承認申請を目標とする治験は、「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令(GCP 平成9年3月27日、厚生省令第28号)」ならびに関連する通知等に基づき実施することが必要である。2003年7月より治験業務全般を治験施設支援機構(Site Management Organization : SMO)に委託し治験業務を進めてきたが、2015年4月より治験業務の一部である治験事務局業務をSMOより院内に移行し、治験事務局長である薬剤部長、薬剤師、事務員で体制整備を進めている。また、医薬品の製造販売後調査の契約受付業務も行っている。

以下に、2019年度の新規治験受託件数を示す。

Phase I :0件 Phase II :2件 Phase III :6件 (うち、医師主導治験:2件)

7. 研究業績

学会発表

- ・壺井美也子、尾上雅英、三井克己、辻屋朝美、矢野義孝、本橋秀之
北野病院の吸入指導ネットワークにおける薬薬連携の現状と課題
第22回日本医薬品情報学会総会・学術大会 2019/6/29-6/30 (札幌市)
- ・渡邊裕之、尾上雅英、神野正敏、手良向聡
カルボプラチンレジメンにおけるNK-1受容体拮抗薬の有用性に関する日本の試験を対象としたsystematic reviewとMeta-analysis
第17回日本臨床腫瘍学会学術集会 2019/7/18-20 (京都市)
- ・上田 覚、長岡一葉、小倉文菜、宮内由利子、角田晃啓、石田梨奈、本庶祥子、濱崎暁洋、古河てまり、竹内麻衣、尾上雅英
多職種チームで開催する糖尿病教室～参加者からの質問分析・薬剤師編～
第7回日本糖尿病療養指導学術集会 2019/7/20-21 (福岡)
- ・井戸雅子、近藤瑛子、松本 忍、佐藤恵美子、釘宮真紀、吉川義顕
当院の褥瘡治療における外用剤の使用状況について
第21回日本褥瘡学会学術集会 2019/8/23-24 (京都市)
- ・谷口麻由加、伊藤俊和、上田 覚、三宅麻文、尾上雅英
薬剤師による小児科クリニカルパスの抗菌薬変更に対する介入効果
第46回日本小児臨床薬理学会学術大会 2019/9/28-29 (札幌市)
- ・小林和博、高橋 有、上田 覚、尾上雅英
AS (Antimicrobial Stewardship) 活動による抗菌薬の使用量と耐性緑膿菌の検出率に及ぼす影響

- 第 29 回日本医療薬学会年会 2019/11/2-4 (福岡市)
- ・宇佐美友佳子、近藤篤、三宅麻文、尾上雅英
婦人科がん患者におけるベバシズマブ投与に伴う静脈血栓症の実態調査
第 29 回日本医療薬学会年会 2019/11/2-4 (福岡市)
- ・上ノ山和弥、三宅麻文、河原宏之、石川弘子、尾上雅英
膵悪性腫瘍術後補助化学療法 S-1 の使用状況の実態調査
第 29 回日本医療薬学会年会 2019/11/2-4 (福岡市)
- ・上田 覚、高橋 有、小林和博、羽田敦子、片山俊郎、尾上雅英
Antimicrobial Stewardship Team (AST) 活動が臨床医の抗菌薬選択に及ぼす影響
第 29 回日本医療薬学会年会 2019/11/2-4 (福岡市)
- ・尾上雅英
吸入指導における病院薬剤師の役割
第 29 回日本医療薬学会年会 2019/11/2-4 (福岡市)
- ・伊藤理沙、高橋有、藤澤彰宏、木曾彩花、中多陽子、尾上雅英
簡易懸濁導入に向けた取り組み
第 41 回日本病院薬剤師会 近畿学術大会 2020/2/15-16 (神戸市)
- ・丸谷周平、安倍さつき、伊藤俊和、尾上雅英
当院 NICU 病棟における TPN 処方に関するインシデント防止策について
第 41 回日本病院薬剤師会 近畿学術大会 2020/2/15-16 (神戸市)
- ・上ノ山和弥、近谷仁志、岡田千香子、宮内由利子、尾上雅英
急性期病院における NST 活動と薬剤師の取り組み
第 41 回日本病院薬剤師会 近畿学術大会 2020/2/15-16 (神戸市)
- ・上ノ山和弥、内田洋一朗、松岡 森、大洞佳代子、山田信子、巽 絢子、北出順子、井下春美、
宮森理英子、垣内真子、山崎みどり
膵癌術後補助化学療法における栄養介入の意義
第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2020/2/27-28 (京都市)
- ・小林和博、近藤篤、三宅麻文、尾上雅英
日本臨床腫瘍薬学会 学術大会 2020 2020/3/21-22 (福岡市)

講 演

- ・上田 覚 北区糖尿病ネットワークについて～シックデイルールの取り組み～
第 1 回北区糖尿病ネットワーク講習会 2019/4/20 (大阪市)
- ・小倉文菜 質疑応答集について
第 1 回北区糖尿病ネットワーク講習会 2019/4/20 (大阪市)
- ・上田 覚 抗菌薬が効かないときに考えること
2019 年度大阪抗菌薬倶楽部 (大阪 ABC) 研究会 2019/6/22 (大阪市)
- ・宇佐美友佳子 ベバシズマブ投与症例の蛋白尿管理
扇町 Breast Cancer Conference 2019/7/5 (大阪市)

- ・近藤 篤 バイオ医薬品の動向と当院におけるリツキシマブ BS の使用経験
～infusion reaction を中心に～
大阪府病院薬剤師会第2支部研修会 2019/7/5 (大阪市)
- ・岡田麻佑 病態別にみた心不全治療薬の使い方 第3回明日から使える！シリーズで学ぶ循環器疾患の実践講座 2019/9/12 (大阪市)
- ・近藤 篤、三宅麻文、石川弘子、河原宏之、尾上雅英
悪性リンパ腫患者におけるリツキシマブ先行バイオ医薬品からバイオ後続品へ変更した際の
infusion reaction の発現について
第25回関西がんチーム医療研究会 2019/9/14 (大阪市) 優秀演題賞受賞
- ・三宅麻文、近藤 篤、水田純平、尾上雅英 オラパリブ導入時の薬剤師の関わり
第25回関西がんチーム医療研究会 2019/9/14 (大阪市)
- ・上田 覚 自施設でのASTの現状と課題 感染webセミナー～ASTの現状と抗菌薬の適正使用～
2019/11/20 (大阪市)
- ・尾上雅英 病院薬剤師として一緒に成長していきませんか？ マイナビ薬学生のための仕事研究&
インターンシップフェア 2019/12/15 (大阪市)

論文

- ・伊藤俊和、高橋有、上田覚、尾上雅英
バンコマイシンの血中濃度モニタリングにより目標血中濃度に到達できた超低出生体重児 1 例
TDM 研究 36(3):125-129 (2019)
- ・近藤篤、上ノ山和弥、宇佐美友佳子、小林和博、三宅麻文、石川弘子、河原宏之、
北野俊行、尾上雅英
悪性リンパ腫患者に対するリツキシマブ先行バイオ医薬品とバイオ後続品の
Infusion Reaction 発現率の比較
日本病院薬剤師会雑誌 55:1304-1309 (2019)

出版

- ・尾上雅英 編集後記 大阪府薬剤師会雑誌 69(6):92, 2019.
- ・河野正憲 新入局薬剤師研修会に参加して O.H.P. NEWS 62(2):15, 2020.
- ・尾上雅英 「薬剤部一同がやりがいを持ち、共に成長できる」組織を目指して
日本病院薬剤師会雑誌 56:228-230 2020.
- ・尾上雅英 BOOK Review 月間薬事 62:169 2020.
- ・尾上雅英 市販の痛み止めや風邪薬の正しい選び方・飲み方。処方薬との使い分けも
eo 健康 https://eonet.jp/health/article/_4104215.html

研究課題

- 1 抗がん剤の副作用発現に関連する因子の探索
(尾上雅英、中多陽子、三宅麻文、近藤 篤、柏井 琢)
- 2 電子カルテ機能を活用した医療安全システムの構築

(三井克己、伊藤俊和、石川弘子、尾上雅英)

- 3 新入職職員や薬学部実習生に対する教育システムの開発
(上田 覚、伊藤俊和、尾上雅英)
- 4 薬剤性副作用の指標となる患者側要因の探索
(河原宏之、尾上雅英)
- 5 カルバペネム系抗菌薬の長期症例への介入が処方日数へ与える影響について
(上田 覚、高橋 有、尾上雅英)
- 6 セフメタゾール注の投与回数別の有効性の比較検討
(上田 覚、伊藤俊和、尾上雅英)
- 7 老年期における薬物療法の実態調査
(河原宏之、尾上雅英)
- 8 ジェネリック薬品導入前後の病院に与える経済的評価
(河原宏之、尾上雅英)
- 9 輸血後鉄過剰症に対する経口鉄キレート剤長期投与の効果
(上ノ山和弥、尾上雅英)
- 1 0 高齢者の多剤服用の現状把握と多職種間での薬物療法の適正化について
(尾上雅英)
- 1 1 irAE 発現に影響を及ぼす併用薬の探索
(中多陽子、柏井 琢、尾上雅英)
- 1 2 眼科手術後の予防的経口抗菌薬中止による術後感染症発生率の影響について
(高橋 有、小林和博、尾上雅英)
- 1 3 新生児期の薬物動態変動機構の解析 (新生児における酢酸亜鉛製剤投与後の血清亜鉛及び血清銅の推移に関する個体間変動要因の解明)
(伊藤俊和、尾上雅英)